

第25回議会報告会・意見交換会アンケートに対する回答

<質問>

(議会報告会・意見交換会について) 年4回位やってほしい。

<質問>

専門的な言いまわしが多くわかりづらいです。もっと簡単な説明を希望します。

<質問>

議会報告会の開始時刻を18時30分からにして下さい。18時からだと仕事帰りの人などが来場するのが大変です。

<回答>

ご意見ありがとうございます。

議会報告会・意見交換会については、毎定例会ごとに開催しております。しかしながら、開催会場が各地域に渡るため、場合によっては遠方での開催となってしまうことをご理解ください。

また、開始時間等につきましては、皆様からいただいたアンケートなどを参考とさせていただき、今後もよりよい議会報告会・意見交換会となるよう努力してまいります。

<質問>

一般市民は市議が身近であり、お願いすることがあると思います。協力を期待したい。

<質問>

折にふれて思うこと、感じることを、気軽に聞いてもらえるような“通路”を設けておいてもらえると有難い。特定の議員に片寄るかもしれないが、民意を酌みとる努力をされる議員さんなら、多少の片寄りは仕方ないだろう。大多数の市民には、議員さんは選挙のときだけの接触に終わっている。

<回答>

ご意見ありがとうございます。

今後も市民に身近な頼れる議会を目指して活動してまいります。

<質問>

議会の情報は、市議会だよりくらいしか聞こえてこないのが現状だと思う。

それぞれの議員さんの身近な一部の市民だけが知っているような感がある。議会に興味を持たない市民が悪いのか、議会が市民のニーズとはなれているのか？議員さんの半分以上顔も名前も知らない。市民とかなりかけはなれているのでは…。

行政の承認団体ではないはず。議会も実情がまったくわからない。

<質問>

市議会の様子が、市民に見えてこない。特に市側の意向や考え方がそっただけで嫌である。ただ、市側の意見、考え方にそって応じている様にしか見えない。市議会の明確な意向が明確になるよう努力されたい。

<回答>

現在、桐生市議会では「いちばん身近な頼れる議会」をモットーに掲げ、議会改革推進に取り組んでいます。その中でも、情報公開・情報発信・住民参加などにも力を入れているところですが、まだまだ皆様に届いてないのが実情ですので、今後もさらに努力してまいりたいと思います。

<質問>

スピード感を持って議論して欲しい。

<質問>

行政のチェックを厳格に。

<質問>

きめ細かく桐生全体を見てほしい。

<質問>

人口減と財政力深刻。頑張ってください。

<質問>

人口減対策を具体的にすすめる。税収の確保対策。会計処理の高度化。

<回答>

桐生市議会といたしましても、二代表制の下で市長と議会がそれぞれの職責を担い、市民の代表として市民の意思を把握して行政に反映し、市民福祉の増進と市政の発展に努めているところです。特にご意見をいただいた人口減少や財政等については深刻な問題と捉えておりますので、今後も桐生市の発展のために議員全員が一丸となって頑張りたいと思います。

<質問>

(議会だよりについて) 議案の採択でほとんど○だが、反対意見等があれば

載せてもらいたい。

<回答>

議会だよりにつきましては、紙面ページの都合上、ご要望にお応えできないこともあります。今後によりわかりやすい議会だよりとなるよう研究してまいりたいと思います。

<質問>

(議会モニターについて) この半年間、しっかり、見聞きしていきたいと思っています。

<質問>

地区ごとに年代別のモニターをおいたら？

<回答>

議会モニターにつきましては、現在、試行的に導入したところでございます。男女比率、年齢においては偏りがないように配慮いたしましたが、今後の本格的な導入時の際には、ご意見いただいた地区別なども検討いたしたいと思っています。

<質問>

桐生では女性の議員が少ないとの意見が出ておりますが桐生の女性は人物的には議員はあまり向いていないと思います。おかしな女性には出て欲しくないです。

<回答>

立候補するのは自由となっております。あくまでも市民の皆様の判断ということでご理解くださいますようお願いいたします。

<質問>

最近、大雨などで河川のはんらん、洪水が多く発生しているが、桐生川河川敷内の樹木、土砂が大変多く、はんらん、洪水の原因になるかと思うが、議会はどのように思うのか知りたい。

<回答>

水害ハザードマップ等の作成により市民の皆様の貴重な生命、財産を守るため、今後も国、県と強調しながら河川の氾濫、洪水対策に努めてまいります。

<質問>

桐生市の将来について不安である。今後前向きに考えて欲しいです。(桐生が破産してしまうかも?)

<質問>

市としての進み町づくりがあまり見えない。

<回答>

現在、桐生市では「桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のスタートから4年目を迎えております。市長も“元気・安心・未来”の三本柱による基本政策を着実に推進しながら、人口減少問題の克服と活力ある地域社会の実現を目指していますので、桐生市議会としても今後の桐生市の発展のために努力していきたいと思います。

<質問>

桐生図書館の職員の納税者である市民に対する接客態度が良くありません。特に中高年の男性職員が上から目線的な対応で不愉快になります。職員の不祥事の続発にもこのようなことから起こるのではないのでしょうか。

<回答>

ご指摘については、所管する教育委員会管理部へお伝えさせていただきます。

<質問>

広報等の部数の再確認願います(多すぎる)。

<回答>

ご指摘については、所管する総合政策部へお伝えさせていただきます。

<質問>

桐生でもデマンドバスや電話でバスなどの乗り合いバスを運行すべきと思います。桐生は高齢者が多く交通弱者が多いためまた高齢者の交通事故を防ぐため運転免許返納を促進するためこのような交通機関の導入が急務です。

<回答>

現在、旧桐生市内ではおりひめバスが運行されております。また、タクシー車両を使用する「予約制おりひめ」も、すでに一部で実施しております。他にも、群馬大学にて低速電動コミュニティバス「MAYU」を活用した移

動手段確保等の実証実験も引き続き実施しておりますのでご理解ください。

なお、新里・黒保根地域では、すでにデマンドタクシーの運行を実施しております。

<質問>

赤字ローカル線であるわたらせ渓谷鉄道の廃止を検討すべき時期にさしかかっていると思います。周辺自治体も財政難の折にありこのような赤字交通機関に税金を投入するのも限界があると思います。早急な検討が望まれます。

<回答>

わたらせ渓谷鐵道は、桐生市にとって大変重要な公共交通機関です。市議会では、沿線住民にとってなくてはならない重要な交通手段として重要な役割を果たしているものと認識しておりますので、わたらせ渓谷鐵道の運営維持については今後も議論していきたいと考えております。

<質問>

みどり市との合併が困難になった今、太田市との合併を目指すべきと思います。みどり市との合併を実現させてから太田市との合併を目指すのが本筋ですがみどり市が拒否している以上、太田市との合併を早急に実現させるべきと思います。太田市との合併により桐生市もいろんな意味で発展すると思います。

<回答>

太田市との合併については、各議員の意見が違いますので、議会としての回答は差し控えさせていただきます。

<質問>

8月の桐生まつりでのブルーインパルスの展示飛行は事故もなく成功であると思います。展示飛行により経済効果が多大であったと思います。また桐生の知名度も上がったと思います。

<回答>

ブルーインパルスの展示飛行については、各議員の意見が違うため議会としての回答は控えさせていただきますが、いただいた意見は所管する産業経済部へお伝えさせていただきます。